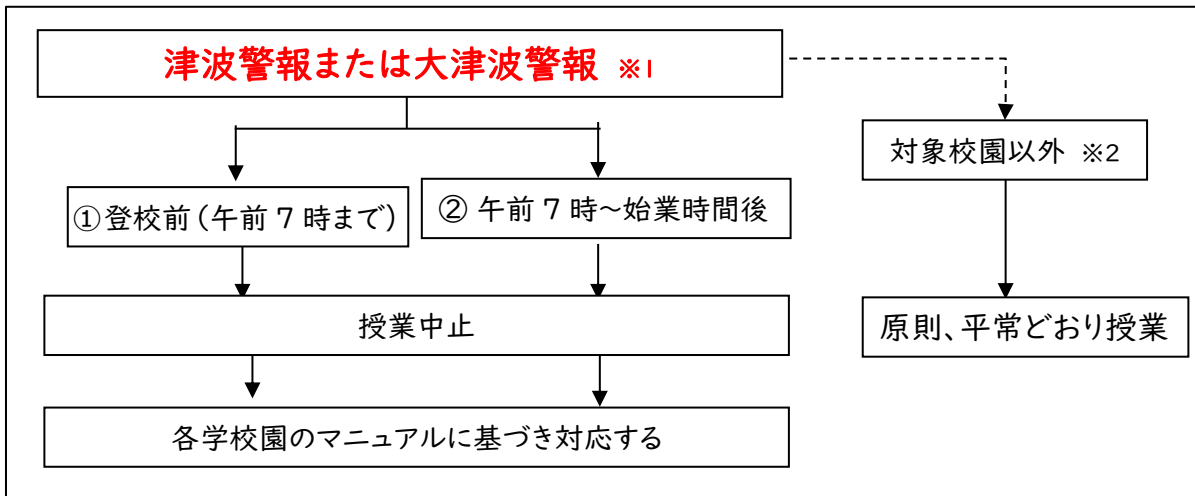


第1章 津波への対応

【(岸和田市教育委員会 平成 30 年 4 月)】

1. 学校園における津波対応指針



※1 対象校園は、南海本線以西に位置する学校園 (中央小、岸城幼、浜幼小、朝陽幼小、春木幼小、大芝幼小、野村中、春木中)と南海本線以東に位置し、避難所に位置付けられた学校園 (城内小、東光小、大宮幼小、城北幼小、新条幼小、岸城中、光陽中、北中)とする。

2. 地震・津波災害時の避難場所

避難レベル	避難場所	避難方法
<1次避難>	教室	災害発生時に自分がいる一番近くの教室 体育館・運動場・その他の場所では、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所で頭部を守り、身を低くする。
<2次避難>	運動場東側	教室では校舎倒壊の恐れがあるなど安全が確保できない場合に、授業中は指導者の指示で。その他の時間は各自が避難する。
<3次避難>	光陽第 2 グラ ンド	大津波警報が発令された場合 ※津波警報は<2次避難>対応

※ 朝陽幼稚園児も同様

※ 朝陽小学校の海拔

- 平成 24 年 8 月の内閣府の公表によるデータから岸和田市における最大震度は「震度 6 弱」とされており、津波高は最大約 5m と想定されている。最大到達時間は 95 分から 105 分。また、朝陽小学校の海拔は、正門 3.5m、裏門 6m、校舎 1 階 5m、3 階 10m である。

※ 津波避難ビル

- 学校 3F は津波避難ビルに指定されている。遠くまで逃げるのが困難な方のために開放する。

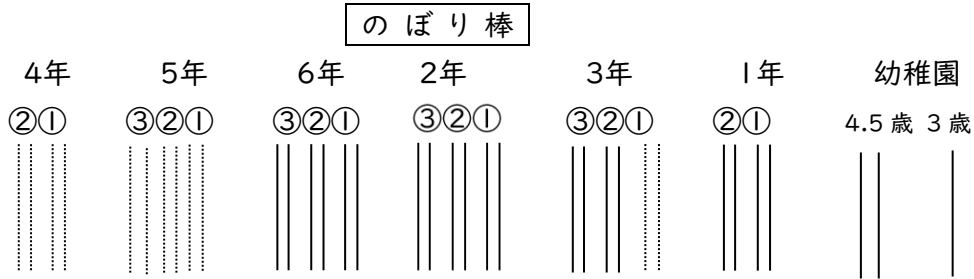
3. 大津波警報が発令され、光陽グラウンドへ避難する場合<3次避難>

(1) 避難方法

内容	児童の動き	教職員の留意点
<p>①非常サイレンを鳴らして非常事態の発生を知らせ、放送で地震があったことを知らせる。(教頭) 「今、非常に大きなゆれが起きました。頭を守りながら、その場に座りましょう。窓の近くにいる人は、窓から離れましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・静かに放送を聞く。 ・机の下に隠れ、頭を守る。 ・机が動かないように、机の脚を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯持参の教職員は、着信を確認する。 ・放送を静かに聞かせる。 ・入口を開ける(避難経路確保)。 ・ガラスが飛び散らないようにカーテンを閉める。 ・窓も閉める。
<p>大津波警報発令</p>		
<p>「大津波警報が出されました。先生の言うことをよく聞いて、静かに運動場へ避難しましょう。」(教頭)</p> <p>②運動場へ避難する。 ・クラスごとに体育倉庫前に並ぶ</p> <p>・ペアで並ぶ</p> <p>③光陽グラウンドへ避難する。 「大津波警報が出されました。今から光陽グラウンドへ避難します。先生の指示に従ってペアを作りましょう。」 (ハンドマイク・教頭)</p> <p>④整列・人数確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはしも」を守り、運動場に避難する。 ・運動場に出たら走る。 ・静かに並ぶ。 ・名前を呼ばれたら返事をする。 ・人数確認後座って待つ。 <p>・ペアを確認する</p> <p>・低学年は、間を開けて 2 列、高学年が 2 列のまま、低学年の間に入る。</p> <p>6年—幼稚園(信号から避難) 5年—1年(歩道橋から避難) 4年—2年(歩道橋から避難) 3年 (信号から避難)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教頭が先頭で歩く。 ・前の人との間を開けずに、黙って歩く <p>・ペア学年で整列する。</p> <p>・間隔をあけて整列する。</p> <p>・人数確認後、座って待つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年付きの先生は、<u>救急バッグ</u>を持つ。学年付きの学年について歩く。 ・的確な指示を出す。 <ul style="list-style-type: none"> ①帽子で頭を守る。 ②「おはしも」の確認。 ③運動場に出たら走る。 ・避難名簿を持参する。 ・時間があれば、靴を履き替えて運動場へ避難させる。 ・名簿の順(2列)、東門方向に向かって下がって並ばせ、点呼を取る。 ・学年主任は出欠用紙に人数を記録し報告する。 教職員→教頭→校長 ↑幼稚園主任 ・準備が完了した学年から出発する。 ・東門を開ける。(校務員) ・避難経路の安全を確認する。(家庭科専科・音楽専科) ①Aの高架を確認→①が通れない時は②③を確認→②Bの高架を確認→③Cの踏切を確認 (先頭の教頭に報告する。) ・Aコースをペア学年で歩く。 ・危険物がないかどうかを確認しながら、安全に誘導。 ・交差点の先頭には教職員が付き、渡った後、先頭を誘導する。
<p>保護者への引き渡し</p>		
<p>⑤児童を保護者に引き渡す(引き渡しカードにある人) 「保護者の方は、上の子どもさんから順に引き取りに行ってください。」(各担任)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き渡した児童の確認(担任が名簿にチェックする) ・引き渡し支援は各学年付きの先生が行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き渡しが終わったら、学年主任は、(教頭)に報告する。

(2) 集合隊形

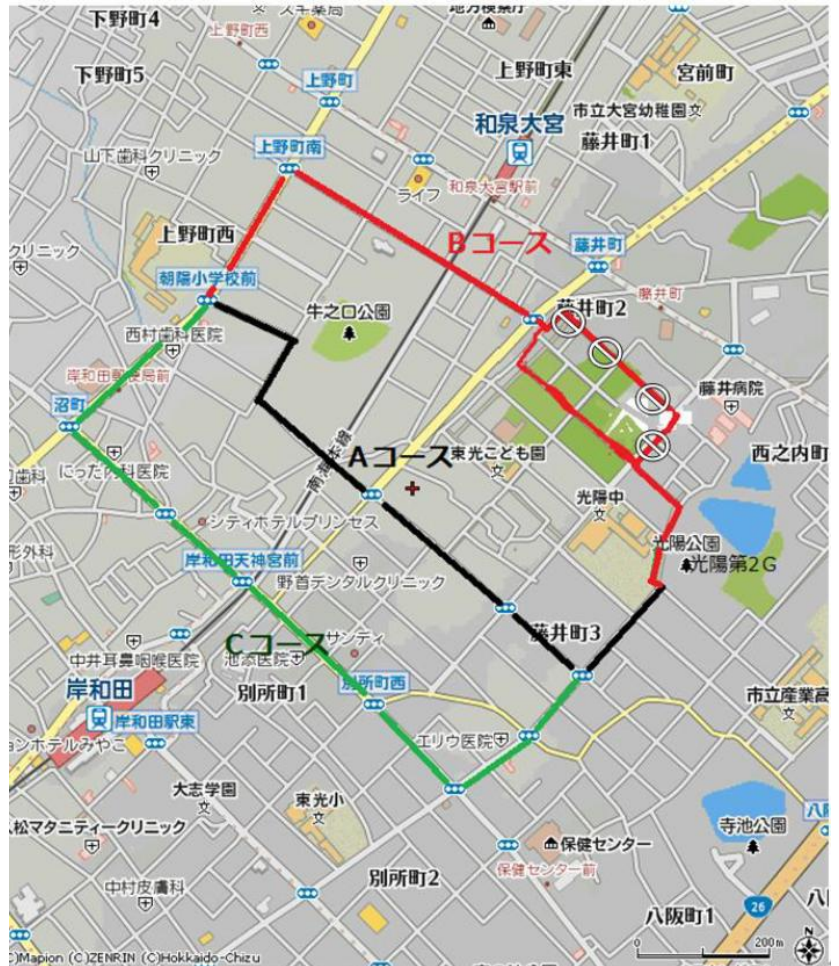
運動場へ避難する。



- ・ 学年番号のあるフェンス(東門側)に向かって並ぶ。
- ・ 各クラス名簿の順(2列)に並ぶ。

(3) 避難経路図

- ① 行き…Aコース
(ペア学年で)
- ② 帰り…Aコース
(1年・5年・6年・幼稚園)
Bコース
(2年・3年・4年)



(4) 引き渡し方法

- ① 光陽グラウンドに到着したら学年ごとに出席番号順で並び直し(学級 2 列)、点呼を行い保護者の迎えを待つ。
- ② 保護者の迎えがきたら、学級担任を中心に「引き渡しカード」で保護者(引き渡し者)の確認を行い、児童の引き渡しを行う。(学年付きの担任外でサポート)
- ③ 迎えに時間がかかる児童については、状況に応じて対応を検討しながら、保護者の引き取りまで預かる。